

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	5048	(H.25)No.	5048
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年センター管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	高津 祥完	

会計区分	事業コード	508801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年センター費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年センター費	青少年センター管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	1	市民文化
	小 施 策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民の芸術文化活動を支える拠点施設の青少年センター(アドバンスコープADSホール)の適切な管理運営を行います。
事業内容
青少年センター(アドバンスコープADSホール)の大規模修繕等の経費及び指定管理料となります。但し、25年度は市が運営することとなったため、施設の維持管理費となります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.25年度(事業量・取組実績)		H.26年度(事業量・取組計画)		
	施設の維持管理経費です。内容は、光熱水費や施設維持のための委託料等になります。		施設の維持管理経費です。内容は、光熱水費や施設維持のための委託料等になります。		
	旅費 37千円 需用費 10,025千円 役務費 292千円 委託料 13,770千円 使用料 656千円 負担金 35千円		旅 費 60千円 需用費 9,520千円 役務費 210千円 委託料 14,708千円 使用料 1,200千円 負担金 38千円 役務費 130千円		
			H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
			指定管理料及び大規模修繕の対応経費	指定管理料及び大規模修繕の対応経費	指定管理料及び大規模修繕の対応経費

	H.25年度(決算見込)		H.26年度(作成時予算額)		H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	24,815千円		25,866千円		29,000千円	29,000千円	29,000千円
内 国・県支出金							
内 地方債							
内 千円) その他(使用料等)	9,818		10,700				
内 一般財源	(0) 14,997		15,166		29,000	29,000	29,000
人工数 職員	0.50人		0.30人		0.10人	0.10人	0.10人
人工数 臨時職員等	0.96人						
②概算人件費	(0千円) 5,432千円		2,280千円		760千円	760千円	760千円
①+②総事業費	(0千円) 30,247千円		28,146千円		29,760千円	29,760千円	29,760千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成27年度以降の指定管理者制度による管理運営に向けて、契約内容の検討を進めるとともに、施設修繕等の環境整備に努めました。	平成27年度からの指定管理者制度による管理運営に向けて取組を進めるとともに、施設修繕等を行い管理環境の改善を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	市内唯一の文化ホールとして、主催事業にも積極的に取り組み、市民文化の向上と舞台芸術の鑑賞など文化振興に寄与しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	出演団体や鑑賞団体と、情報発信や連携を図っていきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市内唯一の文化ホールとして、事業を継続していく必要があります。管理運営については、平成27年度からの指定管理者制度による管理運営に向けて取組を進めます。	